

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.252)

## 1. PCB処理安全監視委員会について



2月17日に、令和6年度第1回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が当事業所で開催されました。今回の安全監視委員会では、令和5年度に策定した「解体撤去計画の概要(基本方針)」の見直しについてご議論をいただきました。これまでは、施設解体時に発生するPCB廃棄物の処理は、令和7年度末までに終わることとする環境省

と豊田市との約束に基づき作成した解体撤去計画の概要に従い工事を進めてきました。

しかし、先行して解体している北九州事業所での知見から、撤去する配管等にも洗浄施設を利用したPCBの除去分別が必要なことなど、当初想定していなかった事実が判明しました。このため、洗浄設備を令和7年度以降も稼働させることや対応のための工程の見直しに時間を要したことから、施設の撤去工程が当初より遅れる見込みであることも説明しました。

今後も、施設の早期解体撤去完了を目指して、安全な工事の実施に努めていきます。



## 2. 施設内の保温材撤去工事を始めました

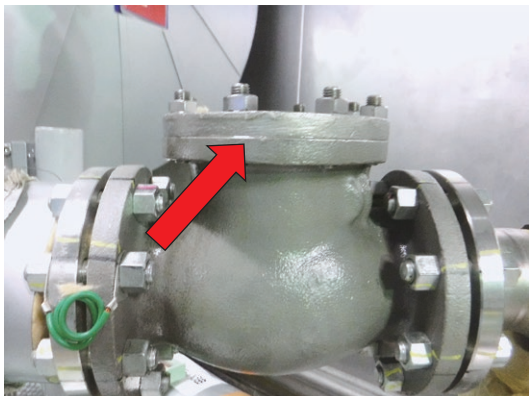
先月号で紹介した自動立体倉庫の解体撤去工事は、2月13日に無事故・無災害で終了しました。続いて、PCBを無害化していた設備の1/2系PCB分解エリアの保温材解体撤去工事を2月18日から開始しました。解体撤去した保温材は、低濃度PCB汚染物であることを確認した上で、無害化処理認定施設へ払い出します。今後も稼働を停止した装置から順番に保温材の撤去工事を行っていきます。



保温材の解体撤去工事においてもこれまでと同様に、JESCO監督員と解体撤去工事の責任者、作業員の全員で毎朝作業前に、作業内容と手順に加え作業に潜む危険予知を含めて相互に確認することで、工事を安全に施工していきます。

また、作業前に確認した内容と現場での作業に相違がある場合には、必ず一旦作業を止めて、再度の危険予知など作業手順の見直しをするなどトラブルの発生防止に努めています。

### 3. 真空加熱エリア内の逆止弁からの洗浄液の漏洩について



(正面 逆止弁の矢印部分から漏洩)

2月19日、施設内の巡回点検中に、処理棟4階にある真空加熱分離エリア内のステンレス床上に洗浄溶剤が約4L漏洩しているのを発見しました。溶剤のPCB濃度分析結果は191mg/kgであり、低濃度PCB油であること、周辺環境への影響はないことを確認しました。

当該箇所は、解体撤去に向けた配管内の洗浄、液抜きを実施していたラインの一部で、逆止弁のカバーを開け、作業後再度ボルトを締め付け、溶剤を張って漏洩がないことの確認を行いました。しかし、その後の洗浄、液抜きで想定以上の圧力がかかり、カバー部(写真赤矢印部分)から溶剤が漏れたものと推定しています。当該箇所についてはすでに液抜きが完了し、今後漏洩は発生しませんが、他箇所での同様の事例が発生しないよう再発防止対策を実施していきます。

### 4. 地震防災訓練の実施

3月14日、東南海トラフ地震(熊野灘沖100km、M8.0)の発生を想定して、地震防災訓練を実施しました。訓練では、まず緊急地震速報システムの発報から地震の揺れ(震度6弱)が当事業所に到達するまでの僅かな時間に、窓ガラスや棚から離れる、机の下に入り頭を守るなど、従業員がまず自分の身を守るための安全行動訓練を実践しました。続いて、地震の揺れが収まった後、全員がヘルメットを着用し、避難誘導の指示に従って最終避難場所に避難し、速やかに人員点呼を行い職員の安否確認を行いました。



(上:避難場所への集合及び安否確認)

(左下:被害状況の点検結果報告)



行方不明者および負傷者がいないことなどを確認後、すぐに防災対策本部と現地指揮本部を立ち上げました。編成された点検パトロール班が処理棟と建屋外周を点検し、火災発生、PCB漏洩及び外周と設備の被害状況等を速やかに確認・報告する訓練をしました。また、被災後の被害を最小限に抑えるための減災活動訓練も同時に実施しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

